



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.11 (152)

2016.11.29

寒暖の差の激しい日が続きます。2016年も残すところ1ヵ月となりました。今年の活動成果をより印象深く残せるように、会員の皆様とともに最後の追い込みと参りましょう。

① 定例研究会〔東京〕が以下の次第で開催されました〔敬称略〕。

日時：2016年10月28日（金）13時~17時

場所：ファイザー(株)

演者・演題：

川端ゆみこ. Boagモデルの評価について.

五十川直樹. Efficacy evaluations for small Japanese patients in global studies in terms of the dose-response relationship.

吹谷芳博. 多変量データの順序付けについて.

丸尾和司. 医学データにおける歪んだ分布の中央値の推測.

藤澤正樹. 観察研究より：諸種の戦略的問題点[Rosenbaum, P. R. (2002). Some Strategic Issues. Chap.12, *Observational Studies*. 367-369. Springer].

東郷香苗. 臨床研究における共変量のマッチング.

河合統介. 最近の話題.



—定例研究会でのひとこま—

- 2 10月29日(土)に開催されました定例シンポジウム2016「医療で必要とされる統計的基礎知識」の参加者からのご感想を以下に掲載いたします。時宜の関係で遅くなりました。ご容赦ください。

定例シンポジウム2016の主題およびご講演・討論についてのご意見・ご感想

- ・統計的方法、考え方、課題などについてとてもわかりやすい内容でした。時間配分も適切でした。全体的に身近な課題やデータの取り扱いをとりあげられていて理解しやすかった。
Watsonのお話はあまりにも夢のような話で、しかもそれが実現されていることにただただ驚きの連続でした。Watsonが高度すぎて内容の理解は「？」でした。(匿名)
- ・貴重なご講演を聴講でき、大変に勉強になりました。なかなか普段の業務において、本日のレベルの統計的方法など触れる機会は多くありませんが、データの見方などに活かせると感じ、とても有意義でした。(匿名)
- ・交絡変数と中間変数の違いの説明がわかりやすくてよかったです。欠測値の基本的な意味が理解できた。(匿名)
- ・各講演とも非常にわかりやすい内容で、これから(社内で)医薬統計業務を相当する人たちへのとてもいい資料となると思います。探索的データ解析については、SASもいいのですがJMP、またはSpotfireなどの事例があると、もう少し可視化を強調できると思いますので、次回以降で講演を検討していただければと思います。(匿名)
- ・IBMの先生の講演を伺うことができ、大変に勉強になりました。(匿名)
- ・日常的に統計学の勉強をしていますが、基礎的な話題に戻り、実務を意識しながら知識を整理する良い機会となりました。(匿名)
- ・わかりやすかったです。(匿名)
- ・貴重なご講演ありがとうございました。統計学を非専門とする医薬品開発業務従事者を対象としたセミナーとのことで、専門的な内容もわかりやすくお話いただき、どの講演も大変に興味深く聴講させていただきました。(匿名)
- ・公表万能な具体的薬剤から、解析手順と考え方などを順を追って臨床・統計の両面から考察する機会があればデータ解析上の更なる進展があるのではないかと思われた。短時間で効率的な各ポイントを聴講させていただいた。各講演が1時間単位なのは集中力が保ちやすい。ありがとうございました。(O・K)
- ・基本的な内容からAIまで興味深く学びました。(匿名)
- ・普段に行う業務に関連することが多く、ただ意識をあまりしていないこともお話いただけて、大変に有意義でした。また、IBM Watsonの話も大変に興味深かった。(匿名)
- ・統計担当者以外の方々向けのシンポジウムということで参加させていただきました。根本にある考え方など、基礎的な内容から、最後のWatsonなど最先端の内容のお話を伺えて、大変に有意義な一日となりました。企画・準備いただき、ありがとうございました。(匿名)
- ・業務で直接に統計解析に関わってはいませんが、興味があり参加させていただきました。講演Iと講演IIIはとくにわかりやすく、勉強させていただきました。とくに、実際例を示していただいたのが理解しやすかった。シンポジウムなどでもいいのですが、実際例を示していただいた書物などがあると勉強しやすいと感じました。Watsonの話も話題として面白かつ

- た. (匿名)
- ・「統計の基礎」をテーマとしたオープンなセミナーは意外と多くなく、貴重な場であったと感じています。今後も「基礎」をベースに幅広い話題を提供いただければぜひ参加したく思います。とくに、欠測値の取り扱いへの講義において、「どのような手法があるか」ではなく、「どのように考えてその手法を選択するのか」という話はなかなか聴ける場がなく、有意義と感じました。(匿名)
 - ・統計的基礎知識に関しては、自分自身の統計的知識の程度を知る非常に良い機会となり、とても有益でした。また、武田浩一先生のご講演は、非常に興味深く、統計学の応用の最先端ということで、非常に為になりました。今後の最近のトピックに関する講演を加えていただけるとよいかと思います。(S・D)
 - ・臨床研究における統計科学の基本的考え方から、人工知能のお話まで、さまざまな分野のお話を聴くことができ、大変に勉強になった。とくに欠測値の考え方は、問題点から対応事例までお話いただき、大変に参考になった。また、探索的データ解析では、アプローチの過程を丁寧にお話いただき、探索的データ解析をどのように進めているのか知ることができ、とても勉強になった。(匿名)
 - ・基礎的な内容から、話題になりつつある探索的解析、Watson など AI の話まで、多岐にわたりとても勉強になりました。今回のシンポジウムのように、統計専門家以外にも対象に含めているシンポジウムを引き続き開催していただきたい。(匿名)
 - ・約 8~9 年前 (?) に大阪大学で院生時代に定例会やフォーラムに参加させていただいたことがあり、今回、恩師から情報をいただき、この会に参加させていただきました。主に、臨床試験に関する内容でしたが、今、自分が取り組んでいる研究にもいろいろとヒントをいただくことができました。貴重なお話をありがとうございました。統計学はもちろん、工学分野の先生のお話も大変に興味深く拝聴しました。(匿名)
 - ・今日は統計科学の基礎から今先端の人工知能といった幅広い内容の話を聴くことができ、15 回目に相応しい内容だったと思います。なかなかこういった統計的方法の基礎の内容を聴ける講演がないので今後も続けていってほしいです (吹谷芳博)

今後にとりあげるべき主題や話題についてご意見・ご提案

- ・欠測に関する統計解析のセミナーを設けてほしい。(匿名)
- ・過去の演題にもありましたが、クロスオーバーデザインと生物学的同等性の評価や配合剤の臨相評価という主題に興味もちました。(匿名)
- ・今後、民間企業での利活用が可能となる医療データベース (MID-NET) に高い関心があります。このようなデータベースの利用目的として、一つは市販後調査等の既存の調査として利用することが考えられますが、その際の統計解析上の注意点・お作法といったものが学べれば大変に嬉しい。(匿名)
- ・統計教育について、teaching staff として活躍されている方々のご意見が聴ければ幸いです。(F・H)
- ・今回の IBM の演者のような直接に臨床統計に関わらなくとも、考え方、手法としてヒントに

なる場合が見いだせる場合があるかもしれないと思います。興味深い他分野のデータ解析法、モデル、最近のトレンドなどもよいのではないかと。(O・K)

- 例数設計，ディープラーニング，SVM，同等性試験。(匿名)
- ビッグ・データの解析とディープラーニングに関する内容，欠測値の取り扱い(アドバイス)。今回の松岡伸篤先生のお話が大変にわかりやすく，是非お願いしたい。(匿名)
- Watson の医療での活用について，update があれば触れていただきたい。(匿名)
- ロジスティック回帰分析など，多変量解析に関する演題。例数設計に関する演題など，医療統計の実際の手法に関する主題があると幸いです。ビッグ・データと今後の医療との関連についてお話いただけると幸いです。(匿名)
- ファーマコメトリクス領域のテーマ，PMDA がどのような視点で申請資料(統計的な部分)のレビューをしているのかを知りたい。(S・D)

特定非営利活動法人・医学統計研究会の諸種の活動についてご要望やご提案

- 最後に松原義弘先生から，医学統計研究会について，詳しくご紹介があり，いろいろな交流，セミナーなどの場に参加させていただきたく思いました。(匿名)
- 統計科学に関する教育コラムやテーマについての講座など。(匿名)
- 今後とも，基礎から中級レベルの実務的，具体的な事例より提供いただければありがたい。(O・K)
- 統計学は社会人になってから勉強しているため，とっつきにくい学問であると感じています。なので，今回の丸尾和司先生や松岡伸篤先生のように，実業務の話も交えた講演は，大変にイメージしやすく，有意義と感じました。ぜひ，実業務や現場の声も交えた講演今後も企画していただけると幸いです。(匿名)

アンケートをお寄せいただいた方々に感謝いたします。ご意見は今後の企画の参考にさせていただきます。ありがとうございました。・・・・・・・・・・・・・・・・松原義弘・後藤昌司





— 定例シンポジウム 2016 でのひとこま —



— 課題検討会でのひとこま —

③ 定例会[大阪]が以下の次第で開催されました [敬称略].

日時：2016年11月12日(土). 13時~17時

場所：医学統計研究会オフィス

演者・演題：

- ・尾崎寿昭：形状不変モデルの適合とその診断.
- ・池田敏広：p 値に関する最近の議論.
- ・吹谷芳博・松原義弘：多変量データの順序付けについて.
- ・後藤昌司：日常の感性：2016 年の記録.

4 日本計算機統計学会・第 30 回シンポジウムが、本研究科：河合統介理事を実行委員長として以下のように開催されました.

日時：2016 年 11 月 24 (木) -25 日 (金)

会場：プラサ ヴェルデ (沼津)

以下に、本研究会の会員の方々の方々の講演 (報告) を抜粋して記載いたします.

- ・ 大学研究力評価のための書誌情報の分析 濱田ひろか, 森 裕一, 飯塚雅也, 本田啓介
- ・ 血中濃度データへの曲線分解の実践的応用 米山昭成, 勘場貢, 後藤昌司
- ・ 代替変数によるインフルエンザ流行予測の改良 澤井啓介, 坂本亘
- ・ ネットワーク・メタ・アナリシスにおける試験間分散の推定とその評価 山口祐介, 丸尾和司
- ・ 過分散を考慮した癌罹患データの空間解析 宮下司, 坂本亘
- ・ Alternative approach to evaluate treatment effects of local regions with small sample size in MRCT 藤井陽介, 高田亜美, 五十川直樹, 弘新太郎
- ・ 多重性を考慮した無作為化比較第 II 相試験の 2 段階デザインとその評価 谷岡健資, 下川敏雄
- ・ 多変量データの順位付けについて 吹谷芳博, 松原義弘, 後藤昌司
- ・ Boag モデルの評価 川端ゆみこ, 後藤昌司
- ・ p 値に関する最近の議論 池田敏広, 後藤昌司
- ・ Decision Science の医薬品開発における利用 伊藤雅憲, 廣岡秀樹
- ・ 空間疫学における集積性の検出と shiny への実装 梶西将司, 石岡文生, 栗原考次
- ・ ラザニアプロットを用いた経時データの視覚化 兼田麻里奈, 坂本亘
- ・ 医学データにおける歪んだ分布の中央値の推測 丸尾和司
- ・ 加速モデルにおける対数尤度比統計量の Bartlett 補正 石井亮太, 丸尾和司, 五所正彦
- ・ 樹木モデルに基づく治療効果のサブグループ摘出手法とその応用 下川敏雄
- ・ セミ・パラトリック平滑化 ROC 曲線による解析 大江基貴, 越智義道, 後藤昌司





－日本計算機統計学会・第30回シンポジウムでのひとこま－

5 今後の予定をお知らせいたします。来年にわたりますので、予定に書き入れていただくと幸いです[敬称略].

(1) ウィンター・フォーラム 2016 が以下の次第で開催されます。

①研究・活動報告会

日時：2016年12月3日（土）9時30分～17時30分

会場：豊中市立中央公民館 講座室

住所：豊中市曾根東町3-7-3

②納会

日時：2016年12月3日（土）18時～21時

会場：「順平」

(2) 定例研究会〔東京〕が以下の次第で開催されます。

日時：2016年12月16日 13時～17時

会場：ファイザー㈱

幹事：河合統介・五十川直樹

(3) 冬季セミナー2017鹿児島が以下の次第で開催されます。

日時：2017年1月21日(土) 9時30分～17時

会場：鹿児島県文化センター：第5会議室

連絡先：米山昭成・勘場 貢・梅田佳史

プログラムは別途に配信予定です。

(4) 特定主題シンポジウム2017「国際共同治験における最近の話題：統計的課題と事例研究」が、以下の次第で開催されます。

日時：2016年2月4日(土) 9時50分～17時30分。

会場：アステラス製薬㈱ 会議室

組織者：伊藤雅憲・河合統介・廣岡秀樹

プログラムは近日中に配信いたします。多くの方々のご参集をお願いいたします。

(5) 大分統計談話会・第55回大会が以下の次第で開催されます。

日時：2017年2月9日(木)～10日(金)。

会場：大分第2ソフィアプラザビル ソフィアホール(2階)

世話人：越智義道

幹事〔窓口〕：志賀 功・衛藤俊寿

プログラムは近日中に配信いたします。多くの方々のご参集をお願いいたします。

メールアドレス：isao_shiga@jp-css.com , toshihisa.eto@jp.fujitsu.com

編集後記：毎年、暮れの「借金取」のような真似はしたくありませんが、「特定非営利活動法人」としての懐具合は芳しくありません。今年度分およびそれまでの未納の方々〔以下の会員番号〕には、早急に納入していただくようお願いいたします。

会費未納状況：0410028, 0410030, 0410036, 0510043, 0710060, 0710061, 0910069, 0910070, 0910071, 1210074, 1210076, 1310080, 1610086, 0410003, 0410011, 0530010, 0530012, 0530018, 0930043, 1030048, 1130050, 1230058, 1230061, 1330062, 1330064, 1330065, 1330066, 1530069.

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範

連絡先：医学統計研究会 事務局〔吉田 舞・後藤 孚〕

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax：06-6835-8790 / e-mail：bra_goto@ybb.ne.jp / URL：<http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。